



令和8年8月5日

午前9時

骨寺村荘園 900 年記念講演会を開催します

骨寺村荘園遺跡が中尊寺経蔵別当領となって本年で 900 年という大きな節目を迎えることを記念し骨寺村荘園 900 年記念講演会を開催します。

1 目 的

これまでの調査研究で明らかになった骨寺村荘園遺跡特有の価値を再確認するとともにその魅力を地域の力へと変え、観光などを通じた交流人口の創出や持続可能な地域づくりに向けたこれからの可能性を考えます。

2 日 時 8月29日(土) 午後1時～4時(開場 午後0時30分)

3 場 所 SWS東日本シビックホール一関(一関文化センター)中ホール

4 内 容 (1) 基調講演

「骨寺村荘園遺跡の価値を紐解く～神と仏の坐す骨寺村を歩く～」

講師：一関市博物館館長 誉田慶信 氏

(2) パネルディスカッション

「骨寺村から創る新たな交流人口のカタチ」

登壇者：八重樫忠郎氏

(平泉世界遺産ガイドダンスセンターセンター長)、

渡辺裕太氏(ホリプロ)、山下祐介氏(東京都立大学教授)、

北村直理氏(骨寺村荘園米オーナー)、

野続祐貴氏(星槎大学非常勤講師)

5 その他 ・詳しくは別添のチラシを参照してください。

問い合わせ先

〒029-3105 岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町 29

教育委員会事務局 骨寺荘園室 原田、中村

電話：(0191)82-2245

FAX：(0191)36-1668

メールアドレス：honedera@city.ichinoseki.iwate.jp



受け継がれてきた景色には、未来をつくる力がある。

900年の
時を紡ぎ、
未来へつなぐ
――骨寺村荘園の魅力とこれからの可能性――

骨寺村荘園遺跡900年記念講演会

900年受け継がれてきた骨寺村荘園遺跡。

その価値をあらためて見つめ直し、

歴史・文化・地域づくり・観光の視点から、

未来へつなぐ可能性を探る講演会です。

2026
8/29(土) 13:00 - 16:00
(開場/12:30)

SWS東日本シビックホール一関
中ホール (一関文化センター) 一関市大手町2番16号

入場無料
先着順

H o n e d e r a m u r a
S h ō e n I s e k i 9 0 0 t h

【主 催】一関市、一関市教育委員会
【共 催】本寺地区地域づくり推進協議会、骨寺村ガイドンス運営協議会
【後 援】中尊寺、一般社団法人一関観光協会



900年の 時を紡ぎ、 未来へつなぐ

骨寺村荘園遺跡900年記念講演会

Honederamura
Shōen Iseki 900th



骨寺村荘園遺跡900年記念講演会

骨寺村荘園遺跡
900年記念事業に
ついて詳しくはこちら



900年にわたり受け継がれてきた骨寺村荘園遺跡。その価値は、歴史的な景観だけでなく、地域に暮らす人々が守り育ててきた文化や営みにもあります。本講演会では、調査研究から見てきた骨寺村荘園遺跡の魅力をひも解くとともに、その価値を「地域の力」へと変え、観光や交流、持続可能な地域づくりへつなげる可能性について考えます。

歴史・文化・観光・地域づくりの第一線で活躍する専門家が集い、骨寺村の未来を語る貴重な機会です。

講演会プログラム

- 13:00 開会・主催者挨拶
- 13:10 基調講演(約60分)
 - [演 題]「骨寺村荘園遺跡の価値を紐解く
～神と仏の坐す骨寺村を歩く～」
 - [講 師]一関市博物館 館長／菅田 慶信 氏
- 14:10 休憩(10分)
- 14:20 パネルディスカッション(約90分)
 - [テーマ]「骨寺村から創る新たな交流人口のカタチ」
 - [登壇者]
 - 平泉世界遺産ガイダンスセンター センター長／八重樫 忠郎 氏(コーディネーター)
 - タレント(ホリプロ所属)／渡辺 裕太 氏(パネリスト)
 - 東京都立大学 人文社会学部 教授／山下 祐介 氏(パネリスト)
 - 骨寺村荘園米オーナー／北村 直理 氏(パネリスト)
 - 星槎大学非常勤講師／野続 祐貴 氏(パネリスト)
- 15:50 閉会の挨拶
- 16:00 閉会

日時 2026 8/29(土) 13:00-16:00 (開場/12:30)

会場 SWS東日本シビックホールー関 中ホール
(一関文化センター) 一関市大手町2番16号

登壇者

総司会・パネリスト

タレント(ホリプロ所属)

渡辺 裕太 氏

1989年生まれ、東京都出身。俳優・タレントとして映画、舞台、テレビなど幅広い分野で活躍。親しみやすいキャラクターと軽快なトークで人気を集める。野菜ソムリエの資格も持ち、食や健康への関心も高い。2022年10月からテレビ岩手『5きげんテレビ』に金曜MCとして出演中。

基調講演 講師

一関市博物館 館長

菅田 慶信 氏

1950年山形県生まれ。東北大学大学院文学研究科前期課程修了。博士(文学)。岩手県立大学盛岡短期大学部教授を経て、現在は同大名誉教授、一関市博物館館長などを務める。2025年に著書『在家百姓の神と仏—中尊寺鎮骨寺村に立つ—』(高志書院)を出版。

パネルディスカッション コーディネーター

平泉世界遺産ガイダンスセンター センター長

八重樫 忠郎 氏

1961年岩手県生まれ。東北大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。専門は中世考古学。平泉町教育委員会文化財調査員を経て、現在は岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター長を務める。現在、岩手日報にて「900年の時を経て-平泉研究最前線-」を連載中。

パネリスト

東京都立大学 人文社会学部 教授

山下 祐介 氏

1969年生まれ。九州大学助手、弘前大学准教授等を経て2018年より現職。専攻は社会学。『現代思想』(青土社)にて「社会は生きている」を連載中。著書に『限界集落の真実』(ちくま新書)『環白神の世界』(平凡社)などがある。

パネリスト

骨寺村荘園米オーナー

北村 直理 氏

1991年生まれ。岩手大学大学院農学研究科修了。有限会社KBC取締役。本寺地区の景観に惹かれ、地域行事に15年・骨寺村荘園米オーナー制度に9年参加し続ける。現在は農業にも携わり、本寺地区との出会いが農業に関わる転機となった。

パネリスト

星槎大学 非常勤講師

野続 祐貴 氏

1994年生まれ。千葉県出身。株式会社北洋銀行、地域連携DMOである一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローを経て、現在、星槎大学非常勤講師、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程在籍中。専門は観光学・祭礼研究。

